

# 世の中を良くする企業ファンド (野村日本株ESG投資) (確定拠出年金向け)

## 運用報告書(全体版)

第1期(決算日2021年3月24日)

作成対象期間(2020年5月27日~2021年3月24日)

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信/国内/株式	
信託期間	2020年5月27日以降、無期限とします。	
運用方針	野村日本株ESG投資マザーファンド(以下「マザーファンド」といいます。)受益証券への投資を通じて、主としてわが国の株式に実質的に投資を行い、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。	
主な投資対象	世の中を良くする企業ファンド (野村日本株ESG投資) (確定拠出年金向け)	マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、株式等に直接投資する場合があります。
	マザーファンド	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	世の中を良くする企業ファンド (野村日本株ESG投資) (確定拠出年金向け)	株式への実質投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
	マザーファンド	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

## 野村アセットマネジメント

東京都江東区豊洲二丁目2番1号



サポートダイヤル 0120-753104  
(受付時間) 営業日の午前9時~午後5時

ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額			参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産総額
	(分配落)	税金配分	みん騰落率	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	騰落率			
(設定日)	円	円	%		%	%	%	百万円
2020年5月27日	10,000	—	—	2,371.14	—	—	—	300
1期(2021年3月24日)	13,239	5	32.4	3,014.91	27.2	99.0	—	774

\* 基準価額の騰落率は分配金込み。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落率	騰落率	東証株価指数(TOPIX) (配当込み)	騰落率		
(設定日)	円	%		%	%	%
2020年5月27日	10,000	—	2,371.14	—	—	—
5月末	10,197	2.0	2,416.04	1.9	97.6	—
6月末	10,521	5.2	2,411.45	1.7	97.7	—
7月末	10,443	4.4	2,314.39	△2.4	97.6	—
8月末	11,066	10.7	2,503.59	5.6	97.8	—
9月末	11,483	14.8	2,536.14	7.0	98.1	—
10月末	11,520	15.2	2,464.21	3.9	98.2	—
11月末	13,343	33.4	2,738.72	15.5	98.9	—
12月末	13,557	35.6	2,819.93	18.9	98.3	—
2021年1月末	13,484	34.8	2,826.50	19.2	98.4	—
2月末	13,249	32.5	2,914.58	22.9	97.3	—
(期末)						
2021年3月24日	13,244	32.4	3,014.91	27.2	99.0	—

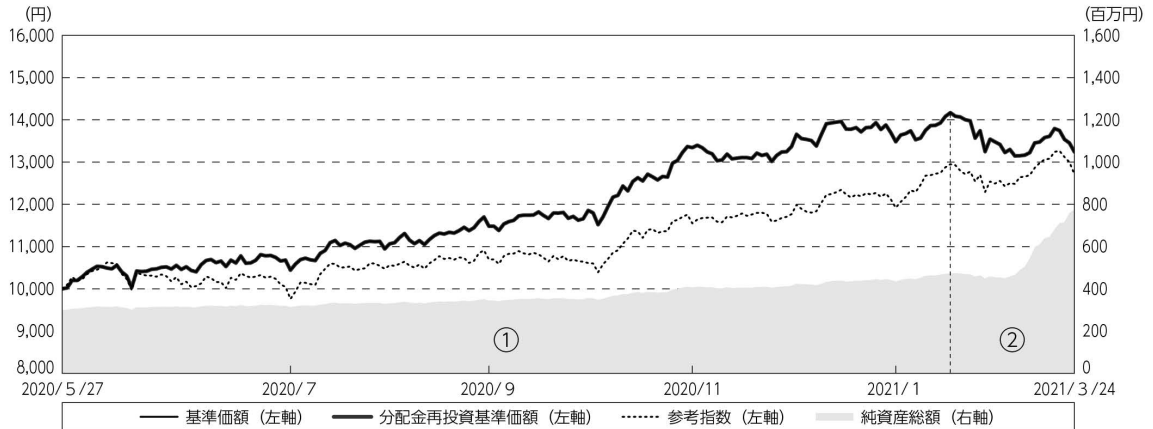
\* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は設定日比です。

\* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「株式組入比率」、「株式先物比率」は実質比率を記載しております。

\* 株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移



設定日：10,000円

期末：13,239円（既払分配金（税込み）：5円）

騰落率：32.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、個々のお客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）参考指数は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は32.4%の上昇

基準価額は、設定時10,000円から期末13,244円（分配金込み）に3,244円の値上がりとなりました。

#### ①の局面（設定時～'21年2月中旬）

（上昇）世界的な金融緩和の継続により、米国や中国を中心とした景気回復期待が高まったこと

（上昇）新型コロナウイルスのワクチン開発が進展したことや接種が開始されたこと

（上昇）米国大統領選挙において、財政拡大を掲げる民主党バイデン氏の勝利が確実となったことにより投資家心理が改善したこと

（上昇）国内企業の決算において、市場の想定を上回る発表が相次ぎ、業績予想が上方修正されたこと。

## ②の局面（'21年2月中旬～期末）

（下落）株価上昇ペースの速さや、米国の長期金利が大幅上昇したことなどに対する警戒感が高まったこと。

## ○投資環境

期初は、国内全域での緊急事態宣言解除を受けて国内株式市場は上昇して始まりました。また、世界的な金融緩和の継続や新型コロナウイルスのワクチン開発の進展、安倍前政権の政策を継承した菅新政権の誕生も投資家心理の改善に寄与しました。11月以降は、米国大統領選挙において、財政拡大を掲げる民主党バイデン氏の勝利が確実となったことや、新型コロナウイルスのワクチン接種開始、米国や中国を中心とした景気回復期待により上昇しました。国内企業の10-12月期決算は売上高の回復に費用削減効果も加わり前年比増益に転じ、2020年度業績予想の上方修正が相次ぎました。

2月中旬以降は株価上昇ペースの速さや、米国の長期金利が大幅上昇したことなどに対する警戒感が高まったことを受け、軟調に推移しました。

## ○当ファンドのポートフォリオ

### [世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）]

主要投資対象である[野村日本株ESG投資マザーファンド]を、期を通じて高位に組み入れ、実質的な株式組入比率は期末に99.0%としました。

### [野村日本株ESG投資マザーファンド]

#### ・株式組入比率

設定時97.8%で始まり、期を通じて高位を維持し、期末には99.2%としました。

#### ・期中の主な動き

ファンドの設定時より、主として

- (1) 個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」に基づき、
- (2) 個別銘柄の中長期での社会的価値創造の度合いと将来的に実現できる収益性の観点で個別銘柄の分析・評価などを行い、個別銘柄の選定・組み入れを決定しました。

**<主な銘柄>**

- ①設定時は、  
キーエンス、中外製薬、ダイキン工業、信越化学工業、HOYAなどを組み入れの上位としました。
- ②期中には、  
中外製薬などの組入比率を引き下げ一方、引き続き信越化学工業、キーエンス、日本電産、HOYAなどの組み入れを上位に維持したほか、日立製作所などを組み入れの上位としました。
- ③銘柄数は、設定時37銘柄から、期末は38銘柄としました。

**<業種配分>**

業種配分については、ボトムアップアプローチによる個別銘柄選択の結果、電気機器、化学、機械などに多く投資しています。

業種配分を参考指数と比べますと、  
化学、機械、サービス業、精密機器、電気機器などの組入比率が高めに、  
情報・通信業、銀行業、卸売業、輸送用機器、陸運業などの組入比率が低めになっています。

**<オーバーウェイト上位5業種>**

	業種	時価構成比(%)	TOPIX (%)	差(%)
1	化学	17.8	7.4	+10.4
2	機械	13.3	5.5	+7.8
3	サービス業	10.8	5.5	+5.3
4	精密機器	7.8	2.5	+5.3
5	電気機器	22.5	17.4	+5.1

**<アンダーウェイト上位5業種>**

	業種	時価構成比(%)	TOPIX (%)	差(%)
1	情報・通信業	1.2	9.3	-8.1
2	銀行業	0.0	5.3	-5.3
3	卸売業	0.0	4.8	-4.8
4	輸送用機器	2.7	7.1	-4.4
5	陸運業	0.0	3.5	-3.5

\* TOPIXはTOPIXにおける時価構成比です。浮動株比率調整後を使用しています。

\* TOPIXの時価構成比に比べ、オーバーウェイトは多め、アンダーウェイトは少なめとしています。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

### \* 参考指数の東証株価指数（TOPIX）（配当込み）対比では5.2%のプラス

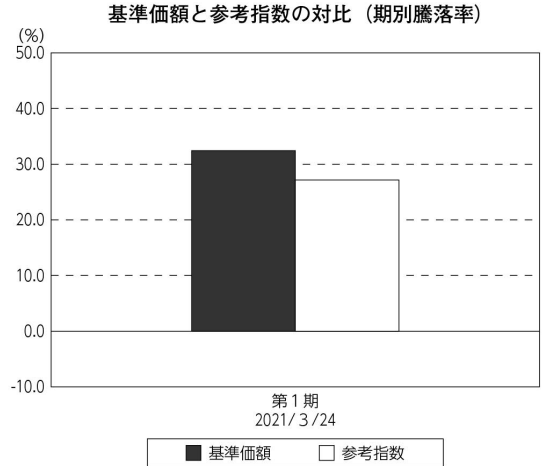
今期の基準価額（分配金込み）の騰落率は+32.4%となり、参考指数の+27.2%を5.2.%上回りました。

### 【主な差異要因】 （プラス要因）

- ①参考指数に比べ保有を多めにしていた電気機器セクターが参考指数のパフォーマンスを上回ったこと
- ②参考指数に比べ保有を多めにしていた銘柄で、日本電産、エムスリー、ファーストリテイリングなどが、参考指数より値上がりしたこと

### （マイナス要因）

- ①参考指数に比べ保有を少なめにしていた情報・通信業セクターが参考指数のパフォーマンスを上回ったこと
- ②保有していなかったソフトバンクグループなどが、参考指数より値上がりしたこと
- ③参考指数に比べ保有を多めにしていた銘柄で、中外製薬、花王などが値下がりしたこと



（注）基準価額の騰落率は分配金込みです。

（注）参考指数は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

## ◎分配金

- (1) 今期の分配金は、基準価額水準などを考慮して1万口当たり5円とさせていただきます。
- (2) 留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行いません。

## ○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり・税込み)

項 目	第1期
	2020年5月27日～ 2021年3月24日
当期分配金	5
(対基準価額比率)	0.038%
当期の収益	5
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	3,238

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

## ◎今後の運用方針

### [野村日本株ESG投資マザーファンド]

- (1) 当ファンドは、わが国の株式の中から、SDGs<sup>※1</sup>やESG<sup>※2</sup>などに係る社会的課題の解決への取り組みに着目し、利益成長することが期待される企業の株式に投資し、中長期でのトータルリターン獲得を目指します。

※1 SDGsとは、持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）のことをいいます。持続可能な開発目標とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

※2 ESGとはEnvironment（環境）、Social（社会）及びCorporate Governance（企業統治）の総称です。

- (2) 当ファンドでは、本業で社会課題解決に取り組み利益を持続的に成長させる企業に投資する事で中長期の投資成果は得られる、という考えのもと株式への投資にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチに基づいて、SDGsやESGへの取り組み、企業理念や事業の持続性・革新性、一定以上の収益力の持続性、流動性やバリュエーションなどの観点から評価を行ない組入れ銘柄を決定していきます。また、個別銘柄への中長期投資を前提としながらも、過度な株価上昇、下落に際しては、適切なリバランスを実施します。丹念な個別企業の調査・分析と適切なリバランスを継続することで、中長期的な超過収益獲得を目指してまいります。

## 【世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）】

当ファンドは引き続き第2期の運用に入ります。

今後の運用に関しましては、ファンドの資金動向に十分配慮しながら、主要投資対象である【野村日本株ESG投資マザーファンド】の組み入れを高位に維持し、基準価額の向上に努めてまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月27日～2021年3月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 ( 投 信 会 社 ) ( 販 売 会 社 ) ( 受 託 会 社 )	82 (45) (32) ( 4 )	0.692 (0.382) (0.273) (0.036)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率  ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等  購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等  ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	12 (12)	0.101 (0.101)	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(c) そ の 他 費 用 ( 監 査 費 用 )	0 ( 0 )	0.003 (0.003)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数  監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	94	0.796	
期中の平均基準価額は、11,886円です。			

\* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

\* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 売買委託手数料およびその他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

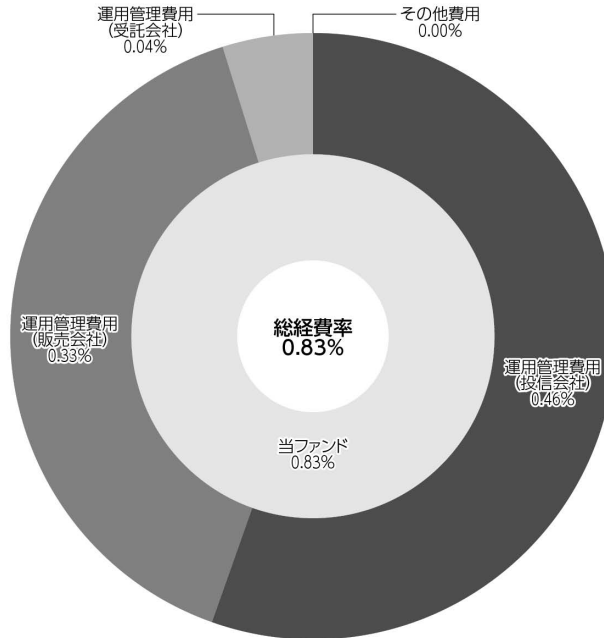
\* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。



（参考情報）

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.83%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、マザーファンドが支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

## ○売買及び取引の状況

(2020年5月27日～2021年3月24日)

## 親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
野村日本株ESG投資マザーファンド	千口 590,067	千円 692,800	千口 11,136	千円 14,800

\*単位未満は切り捨て。

## ○株式売買比率

(2020年5月27日～2021年3月24日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項目	当期	
	野村日本株ESG投資マザーファンド	
(a) 期中の株式売買金額	766,178千円	
(b) 期中の平均組入株式時価総額	359,854千円	
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.12	

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

## ○利害関係人との取引状況等

(2020年5月27日～2021年3月24日)

## 利害関係人との取引状況

<世の中を良くする企業ファンド（野村日本株ESG投資）（確定拠出年金向け）>  
該当事項はございません。

## &lt;野村日本株ESG投資マザーファンド&gt;

区分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人との取引状況 B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人との取引状況 D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 720	百万円 16	% 2.2	百万円 46	百万円 7	% 15.2

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

### 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	370千円
うち利害関係人への支払額 (B)	16千円
(B) / (A)	4.6%

\* 売買委託手数料総額は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものです。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

### ○ 自社による当ファンドの設定、解約状況

(2020年5月27日～2021年3月24日)

設定時残高 (元 本)	当期設定 元 本	当期解約 元 本	期末残高 (元 本)	取 引 の 理 由
百万円 300	百万円 -	百万円 -	百万円 300	当初設定時における取得

### ○ 組入資産の明細

(2021年3月24日現在)

#### 親投資信託残高

銘 柄	当 期 末	
	口 数	評 価 額
野村日本株ESG投資マザーファンド	千口 578,930	千円 772,872

\* 口数・評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託における組入資産の明細につきましては、後述の親投資信託の「運用報告書」をご参照ください。

### ○ 投資信託財産の構成

(2021年3月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
野村日本株ESG投資マザーファンド	千円 772,872	% 98.9
コール・ローン等、その他	8,803	1.1
投資信託財産総額	781,675	100.0

\* 金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2021年3月24日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	781,675,638
コール・ローン等	8,803,233
野村日本株ESG投資マザーファンド(評価額)	772,872,405
(B) 負債	7,225,753
未払収益分配金	292,493
未払解約金	5,685,410
未払信託報酬	1,242,986
未払利息	5
その他未払費用	4,859
(C) 純資産総額(A-B)	774,449,885
元本	584,987,159
次期繰越損益金	189,462,726
(D) 受益権総口数	584,987,159口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,239円

(注) 期首元本額は300,000,000円、期中追加設定元本額は305,535,113円、期中一部解約元本額は20,547,954円、1口当たり純資産額は1,3239円です。

## ○損益の状況（2020年5月27日～2021年3月24日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	△ 229
支払利息	△ 229
(B) 有価証券売買損益	89,238,758
売買益	94,858,115
売買損	△ 5,619,357
(C) 信託報酬等	△ 2,660,386
(D) 当期損益金(A+B+C)	86,578,143
(E) 追加信託差損益金	103,177,076
(配当等相当額)	(△ 193)
(売買損益相当額)	( 103,177,269)
(F) 計(D+E)	189,755,219
(G) 収益分配金	△ 292,493
次期繰越損益金(F+G)	189,462,726
追加信託差損益金	103,177,076
(配当等相当額)	( 47,834)
(売買損益相当額)	( 103,129,242)
分配準備積立金	86,285,650

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2020年5月27日～2021年3月24日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2020年5月27日～ 2021年3月24日
a. 配当等収益(経費控除後)	2,368,237円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	84,209,906円
c. 信託約款に定める収益調整金	103,177,076円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	0円
e. 分配対象収益(a+b+c+d)	189,755,219円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	3,243円
g. 分配金	292,493円
h. 分配金(1万口当たり)	5円

## ○分配金のお知らせ

---

1 万口当たり分配金（税込み）	5円
-----------------	----

## ○お知らせ

---

該当事項はございません。

# 野村日本株ESG投資マザーファンド

## 運用報告書

第1期（決算日2021年3月24日）

作成対象期間（2020年5月27日～2021年3月24日）

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。  
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。  
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	わが国の株式を主要投資対象とし、信託財産の成長を目標に積極的な運用を行うことを基本とします。 株式への投資にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチに基づいて、SDGsやESGへの取り組み、企業理念や事業の持続性・革新性、一定以上の収益力の持続性、流動性やバリュエーションなどの観点から評価を行い、組入銘柄及び組入比率を決定します。
主な投資対象	わが国の株式を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資割合には制限を設けません。 外貨建て資産への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。

**野村アセットマネジメント**

東京都江東区豊洲二丁目2番1号

<http://www.nomura-am.co.jp/>

## ○設定以来の運用実績

決算期	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率	純資産額
	騰落	中率	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	騰落			
(設定日) 2020年5月27日	円 10,000	% —	2,371.14	% —	% —	% —	百万円 299
1期(2021年3月24日)	13,350	33.5	3,014.91	27.2	99.2	—	772

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額		参考指数		株式組入比率	株式先物比率
	騰落	率	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)	騰落		
(設定日) 2020年5月27日	円 10,000	% —	2,371.14	% —	% —	% —
5月末	10,198	2.0	2,416.04	1.9	97.9	—
6月末	10,530	5.3	2,411.45	1.7	97.9	—
7月末	10,460	4.6	2,314.39	△ 2.4	97.9	—
8月末	11,093	10.9	2,503.59	5.6	98.0	—
9月末	11,520	15.2	2,536.14	7.0	98.4	—
10月末	11,564	15.6	2,464.21	3.9	98.4	—
11月末	13,410	34.1	2,738.72	15.5	98.3	—
12月末	13,634	36.3	2,819.93	18.9	98.6	—
2021年1月末	13,568	35.7	2,826.50	19.2	98.6	—
2月末	13,336	33.4	2,914.58	22.9	97.5	—
(期末) 2021年3月24日	13,350	33.5	3,014.91	27.2	99.2	—

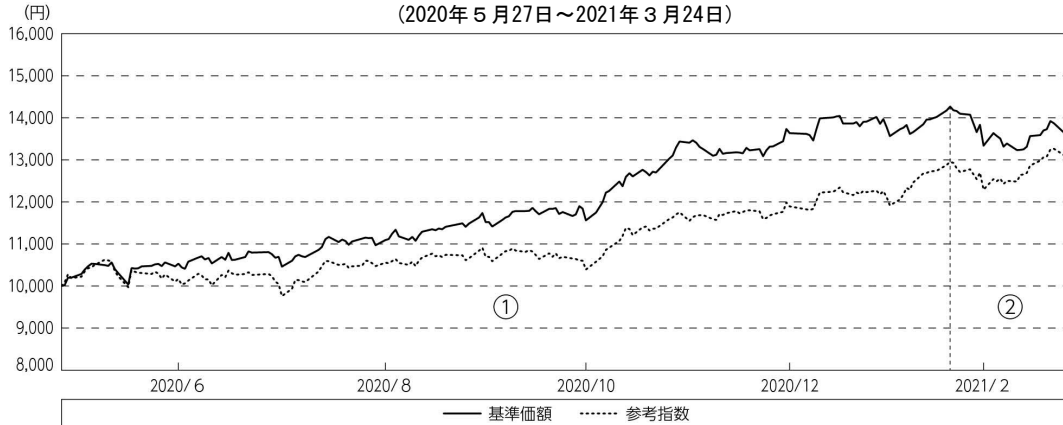
\*騰落率は設定日比です。

\*株式先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

## ◎運用経過

### ○期中の基準価額等の推移

【基準価額等の推移】  
(2020年5月27日～2021年3月24日)



(注) 参考指数は、東証株価指数 (TOPIX) (配当込み) です。参考指数は、設定時を10,000として計算しております。

### ○基準価額の主な変動要因

#### \* 基準価額は33.5%の上昇

基準価額は、設定時10,000円から期末13,350円に3,350円の値上がりとなりました。

#### ①の局面 (設定時～'21年2月中旬)

- (上昇) 世界的な金融緩和の継続により、米国や中国を中心とした景気回復期待が高まったこと
- (上昇) 新型コロナウイルスのワクチン開発が進展したことや接種が開始されたこと
- (上昇) 米国大統領選挙において、財政拡大を掲げる民主党バイデン氏の勝利が確実となったことにより投資家心理が改善したこと
- (上昇) 国内企業の決算において、市場の想定を上回る発表が相次ぎ、業績予想が上方修正されたこと。

#### ②の局面 ('21年2月中旬～期末)

- (下落) 株価上昇ペースの速さや、米国の長期金利が大幅上昇したことなどに対する警戒感が高まったこと。



## ○当ファンドのポートフォリオ

### ・株式組入比率

設定時97.8%で始まり、期を通じて高位を維持し、期末には99.2%としました。

### ・期中の主な動き

ファンドの設定時より、主として

- (1) 個別企業の調査・分析等を中心とした「ボトムアップアプローチ」に基づき、
- (2) 個別銘柄の中長期での社会的価値創造の度合いと将来的に実現できる収益性の観点で個別銘柄の分析・評価などを行い、個別銘柄の選定・組み入れを決定しました。

### <主な銘柄>

#### ①設定時は、

キーエンス、中外製薬、ダイキン工業、信越化学工業、HOYAなどを組み入れの上位としました。

#### ②期中には、

中外製薬などの組入比率を引き下げ一方、引き続き信越化学工業、キーエンス、日本電産、HOYAなどの組み入れを上位に維持したほか、日立製作所などを組み入れの上位としました。

#### ③銘柄数は、設定時37銘柄から、期末は38銘柄としました。

### <業種配分>

業種配分については、ボトムアップアプローチによる個別銘柄選択の結果、電気機器、化学、機械などに多く投資しています。

業種配分を参考指数と比べますと、  
化学、機械、サービス業、精密機器、電気機器などの組入比率が高めに、  
情報・通信業、銀行業、卸売業、輸送用機器、陸運業などの組入比率が低めになっています。

#### <オーバーウェイト上位5業種>

	業種	時価 構成比(%)	TOPIX (%)	差(%)
1	化学	17.8	7.4	+10.4
2	機械	13.3	5.5	+7.8
3	サービス業	10.8	5.5	+5.3
4	精密機器	7.8	2.5	+5.3
5	電気機器	22.5	17.4	+5.1

#### <アンダーウェイト上位5業種>

	業種	時価 構成比(%)	TOPIX (%)	差(%)
1	情報・通信業	1.2	9.3	-8.1
2	銀行業	0.0	5.3	-5.3
3	卸売業	0.0	4.8	-4.8
4	輸送用機器	2.7	7.1	-4.4
5	陸運業	0.0	3.5	-3.5

\* TOPIXはTOPIXにおける時価構成比です。浮動株比率調整後を使用しています。

\* TOPIXの時価構成比に比べ、オーバーウェイトは多め、アンダーウェイトは少なめとしています。

## ○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

コメント・グラフは、基準価額と参考指数の騰落率の対比です。

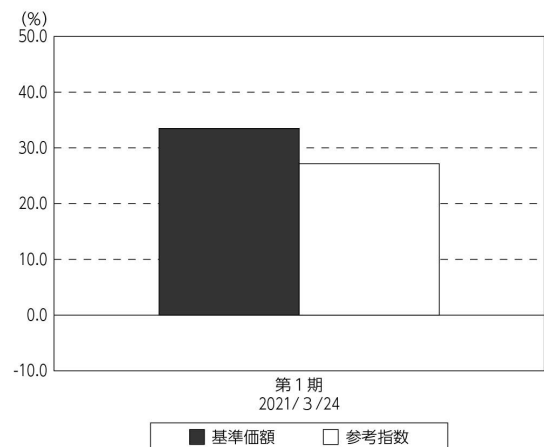
**\* 参考指数の東証株価指数（TOPIX）（配当込み）対比では6.3%のプラス**

今期の基準価額の騰落率は+33.5%となり、参考指数の+27.2%を6.3%上回りました。

### 【主な差異要因】 (プラス要因)

- ①参考指数に比べ保有を多めにしていた電気機器セクターが参考指数のパフォーマンスを上回ったこと
- ②参考指数に比べ保有を多めにしていた銘柄で、日本電産、エムスリー、ファーストリテイリングなどが、参考指数より値上がりしたこと

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 参考指数は、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）です。

### (マイナス要因)

- ①参考指数に比べ保有を少なめにしていた情報・通信業セクターが参考指数のパフォーマンスを上回ったこと
- ②保有していなかったソフトバンクグループなどが、参考指数より値上がりしたこと
- ③参考指数に比べ保有を多めにしていた銘柄で、中外製薬、花王などが値下がりしたこと

### ◎今後の運用方針

- (1) 当ファンドは、わが国の株式の中から、SDGs<sup>※1</sup>やESG<sup>※2</sup>などに係る社会的課題の解決への取り組みに着目し、利益成長することが期待される企業の株式に投資し、中長期でのトータルリターン獲得を目指します。

※1 SDGsとは、持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) のことをいいます。持続可能な開発目標とは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2016年から2030年までの国際目標です。

※2 ESGとはEnvironment (環境)、Social (社会) 及びCorporate Governance (企業統治) の総称です。

- (2) 当ファンドでは、本業で社会課題解決に取り組み利益を持続的に成長させる企業に投資する事で中長期の投資成果は得られる、という考えのもと株式への投資にあたっては、個別企業の調査・分析等に基づいたボトムアップアプローチに基づいて、SDGsやESGへの取り組み、企業理念や事業の持続性・革新性、一定以上の収益力の持続性、流動性やバリュエーションなどの観点から評価を行ない組入れ銘柄を決定していきます。また、個別銘柄への中長期投資を前提としながらも、過度な株価上昇、下落に際しては、適切なりバランスを実施します。丹念な個別企業の調査・分析と適切なりバランスを継続することで、中長期的な超過収益獲得を目指してまいります。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## ○ 1 万口当たりの費用明細

(2020年5月27日～2021年3月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料 ( 株 式 )	円 12 (12)	% 0.101 (0.101)	(a) 売買委託手数料=期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
合 計	12	0.101	
期中の平均基準価額は、11,931円です。			

\*各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\*各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## ○ 売買及び取引の状況

(2020年5月27日～2021年3月24日)

## 株式

		買 付		売 付	
		株 数	金 額	株 数	金 額
国		千株	千円	千株	千円
内	上場	120	720,028	8	46,150
		( 3 )	( - )		

\*金額は受け渡し代金。

\*単位未満は切り捨て。

\*( )内は株式分割、予約権行使、合併等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

## ○ 株式売買比率

(2020年5月27日～2021年3月24日)

## 株式売買金額の平均組入株式時価総額に対する割合

項 目	当 期
(a) 期中の株式売買金額	766,178千円
(b) 期中の平均組入株式時価総額	359,854千円
(c) 売買高比率 (a) / (b)	2.12

\* (b) は各月末現在の組入株式時価総額の平均。

(2020年5月27日～2021年3月24日)

## ○利害関係人との取引状況等

## 利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$		うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$	
株式	百万円 720	百万円 16	% 2.2	百万円 46	百万円 7	% 15.2

## 売買委託手数料総額に対する利害関係人への支払比率

項 目	当 期
売買委託手数料総額 (A)	370千円
うち利害関係人への支払額 (B)	16千円
(B) / (A)	4.6%

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

(2021年3月24日現在)

## ○組入資産の明細

## 国内株式

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
<b>建設業 (3.2%)</b>		
大和ハウス工業	7.4	24,471
<b>化学 (17.8%)</b>		
日産化学	3.7	21,349
信越化学工業	2.3	41,538
エア・ウォーター	9.7	19,341
日油	2.9	16,530
花王	2.4	17,191
日東電工	0.8	7,384
ユニ・チャーム	3	13,539
<b>医薬品 (7.0%)</b>		
塩野義製薬	1.6	9,364
中外製薬	4.7	20,294
エーザイ	1.4	10,130
JCRファーマ	4.1	13,796
<b>金属製品 (2.1%)</b>		
リンナイ	1.3	15,808
<b>機械 (13.3%)</b>		
ディスコ	0.8	27,200
小松製作所	9.1	29,538
ダイキン工業	1.5	31,530
マキタ	2.9	13,543
<b>電気機器 (22.5%)</b>		
日立製作所	6.6	34,273
日本電産	3	39,615
キーエンス	0.8	39,832
シスメックス	1.4	16,086
浜松ホトニクス	1.8	11,592

銘柄	当 期 末	
	株 数	評 価 額
	千株	千円
村田製作所	3.5	30,793
<b>輸送用機器 (2.7%)</b>		
シマノ	0.8	20,492
<b>精密機器 (7.8%)</b>		
島津製作所	4.2	16,506
HOYA	2.7	33,898
朝日インテック	2.9	9,091
<b>その他製品 (2.1%)</b>		
ピジョン	3.9	15,990
<b>情報・通信業 (1.2%)</b>		
オービック	0.5	9,675
<b>小売業 (8.9%)</b>		
MonotaRO	1.7	9,911
良品計画	4.9	12,828
ニトリホールディングス	1	20,635
ファーストリテイリング	0.3	25,122
<b>不動産業 (0.6%)</b>		
パーク24	2.4	4,852
<b>サービス業 (10.8%)</b>		
日本M&Aセンター	2.6	15,392
エムスリー	3.3	24,070
オリエンタルランド	0.7	11,487
リクルートホールディングス	6.4	31,641
合 計	株数・金額	115 766,335
	銘柄数<比率>	38 <99.2%>

\*各銘柄の業種分類は、期末の時点での分類に基づいています。  
 \*銘柄欄の( )内は、国内株式の評価総額に対する各業種の比率。  
 \*評価額欄の< >内は、純資産総額に対する評価額の比率。  
 \*評価額の単位未満は切り捨て。

## ○投資信託財産の構成

(2021年3月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
株式	千円 766,335	% 90.3
コール・ローン等、その他	81,920	9.7
投資信託財産総額	848,255	100.0

\*金額の単位未満は切り捨て。

## ○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2021年3月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	848,255,536
コール・ローン等	81,454,636
株式(評価額)	766,335,300
未収配当金	465,600
(B) 負債	75,356,394
未払金	75,356,346
未払利息	48
(C) 純資産総額(A-B)	772,899,142
元本	578,930,641
次期繰越損益金	193,968,501
(D) 受益権総口数	578,930,641口
1万口当たり基準価額(C/D)	13,350円

(注) 期首元本額は299,400,000円、期中追加設定元本額は290,667,307円、期中一部解約元本額は11,136,666円、1口当たり純資産額は1,3350円です。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額・世の中を良くする企業ファンド(野村日本株ESG投資)(確定拠出年金向け) 578,930,641円

## ○損益の状況 (2020年5月27日～2021年3月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	2,441,361
受取配当金	2,444,203
その他収益金	2
支払利息	△ 2,844
(B) 有価証券売買損益	92,457,781
売買益	98,492,584
売買損	△ 6,034,803
(C) 当期損益金(A+B)	94,899,142
(D) 追加信託差損益金	102,732,693
(E) 解約差損益金	△ 3,663,334
(F) 計(C+D+E)	193,968,501
次期繰越損益金(F)	193,968,501

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(D)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(E)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

## ○お知らせ

該当事項はございません。